

ドイツの社会と文化Ⅳ

科目ナンバリング EUS-209
選択 2単位

1. 授業の概要(ねらい)

宗教改革以降のドイツ語圏の歴史を、19世紀後半のドイツ帝国の成立までたどる。

2. 授業の到達目標

宗教改革から19世紀にいたるドイツの歴史について理解を深める。

3. 成績評価の方法および基準

レポートまたは期末テスト80%。月一回の授業内小レポート20%。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

前回のノートをよく読んでおく。

6. その他履修上の注意事項

毎回ノート持参。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション。宗教改革。
- 【第2回】 宗教改革の影響。
- 【第3回】 宗教改革期の芸術1。
- 【第4回】 宗教改革期の芸術2。
- 【第5回】 ハプスブルク家とプロイセン1。
- 【第6回】 ハプスブルク家とプロイセン2。
- 【第7回】 ハプスブルク家とプロイセン3。
- 【第8回】 ハプスブルク家とプロイセン4。
- 【第9回】 ドイツのバロック芸術1。
- 【第10回】 ドイツのバロック芸術2。
- 【第11回】 ドイツのロココ芸術。
- 【第12回】 ウィーン古典派の音楽1。
- 【第13回】 ウィーン古典派の音楽2。
- 【第14回】 ドイツ帝国の成立。
- 【第15回】 まとめとテスト。